



21045078

キ-21045078 / 2024.10

初めにお読みください

- 本アプリでできること
●端末要件および接続可否
●注意事項

ダイレクトストリーミングに必要なスマホ等端末の仕様：
Android端末は多様な種類があり、Bluetooth LE Audio/ASHA対応であっても、端末のメーカーが定める仕様や搭載OSバージョンにより、下表の要件を満たしていてもダイレクトストリーミングを利用できない場合があります。

Table with 3 columns: 端末 (Bluetooth規格), 端末要件, 補聴器対応シリーズ

※本書に掲載した操作画面や画面構成は予告なく変更される場合があります。
またOSバージョンによっても画面が異なる場合があります。

- Bluetooth機能を搭載した機種、より上位クラスの機種、片耳よりも両耳装着の方がSigniaアプリで利用できる機能はより多くなります。
●Signiaアシスタントを利用するにはBluetooth機能を搭載したSignia IX / AX / X補聴器が必要です。

1 Signiaアプリのダウンロード・インストール

- ①お使いのスマートフォンでApp Store / Google playストアを開きます。
②検索ウィンドウに「Signia」(または「Signia」)と入力します。
③アプリを入手してください。

2 Bluetoothペアリングの準備 (iPhoneの場合)

QRコードをスマホで読み取ってください。
補聴器とスマホのペアリング方法をSignia補聴器公式YouTubeチャンネルでご確認いただけます。

- AndroidのBluetoothペアリングの場合、ステップ3へお進みください。
●Bluetooth非搭載の補聴器、または、Bluetooth非対応のスマホ等端末をご使用の場合、ステップ4へお進みください。

1 補聴器の準備

両耳あるいは片耳の補聴器に新しい電池を入れてください。ここではまだ補聴器の電源はオフのままとし、電池ケースを開けておきます。

※充電式補聴器の場合はボタンを長押し、または充電器にセットしてオフ。

2 Bluetooth機能をオン

画面をスワイプしてコントロールセンターを表示します。Bluetoothアイコンをタップします。(下図の青色がオンの状態)



3 補聴器の検出

[設定]>[アクセシビリティ]をタップします。

補聴器の電池ケースを閉めて電源をオンにします。お耳に装着していただいても構いません。電源オンのメロディが流れます。

[ヒ어링デバイス]または[MFi補聴器]をタップします。補聴器の検出が自動的に開始されます。

4 Bluetoothペアリング

検出が完了すると補聴器名および左右が表示されます(右図-①)。(※1)片耳または両耳の補聴器が正しく検出されない場合は...
(※2)スマホの再起動も正しい検出に効果があります。併せてお試しください。

「補聴器名」をタップすると下図ダイアログボックスが表示されます。[ペアリング]をタップします(②)(下図-⑥)。(両耳の場合、ダイアログボックスが2回表示されます)
ペアリングが完了すると、下図のように補聴器名や電池残量が表示され、ここで補聴器の簡単な操作もできます(下図-⑦)。



以上で補聴器とスマホ端末のペアリングは完了です。
POINT
いったんペアリングが完了すれば、以降は補聴器/端末の電源を入れ直しても自動的に再接続されます。再接続されない場合は、いったん「このデバイスのペアリングを解除」(★)してから手順①~④をやり直してください。

3 Signiaアプリを開き、Bluetoothペアリング

- ⑤ Signiaアプリを開きます
⑥ [Bluetooth]を選択



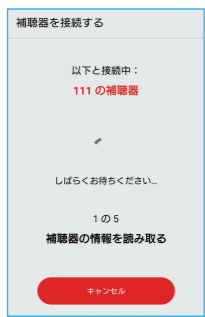
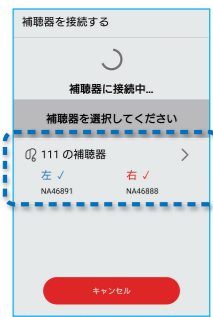
7 補聴器の再起動 (Androidの場合)

いったんオフ⇒オンします。
※充電式補聴器の場合はボタンを長押し、または充電器から取り出してオンにします。



8 補聴器を接続する (Androidの場合)

表示された補聴器をタップします。「しばらくお待ちください」と表示されます。



9 接続に成功しました

[ここをタップ]をタップします。

事項 4 Bluetoothをつかれないペアリング(音を利用)の⑨に進む。



4 Bluetoothを使わないペアリング(音を利用)

- Bluetoothを搭載していない機種等の場合、ヒトの耳では聞こえないような高周波音を使ってペアリング・補聴器の操作を行います。

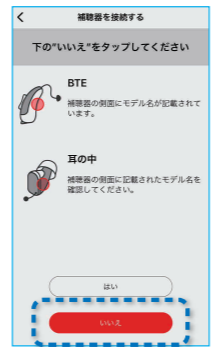
1 [その他(上記以外の場合)]を選択

ホーム画面で[その他]をタップします。



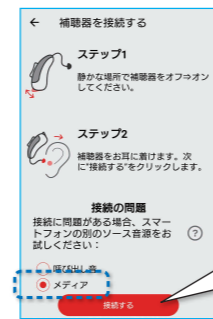
2 [いいえ]を選択

下の[いいえ]をタップします。



3 接続の準備

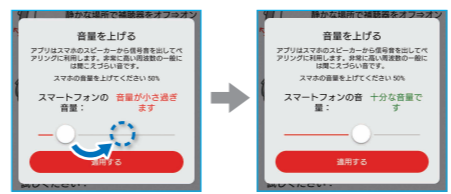
補聴器をいったんオフ⇒オンします。
※充電式補聴器の場合はボタンを長押し、または充電器にセットしてオフ。



「メディア」を選択します(iPhoneでは表示されません)。「接続する」をタップすると、ペアリングのための信号音(非常に高い周波数で多くの場合ほとんど聞こえないような特殊な信号音波)がスマホから出ます。予め次のことに注意してください。

- ◎ スマホの音量設定がミュートではなく音の出る状態であること
× スマホにヘッドホン端末、Bluetooth端末等が接続されていないこと

右図のように「音量が小さ過ぎます」と表示される場合には「十分な音量です」の表示になるまでスライダーを右に動かしてください。

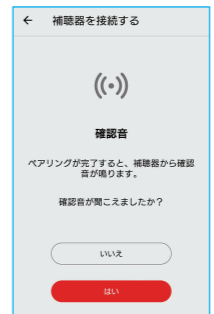


Android端末の種類によっては、上記のような注意をお守りいただいてもどうしても接続できない場合があります。その場合、右図のように「呼び出し音」を選択して[接続する]をお試しください。

※「呼び出し音」の場合、マナーモード/サイレントモードではアプリの操作ができなくなります。

4 確認音

補聴器から確認のための電子音が聞こえたら[はい]をタップします。(聞こえなければ[いいえ]をタップし、③からやり直してください)



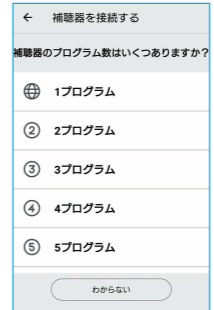
5 お使いの補聴器は「指向性機能を搭載」、「7/5クラス」、「両耳装着」ですか?

3つの条件を満たす場合⇒[はい]
1つでも満たさない場合⇒[いいえ]
※指向性機能を搭載していても「マニュアル指向性」を利用できるのは7/5クラスで両耳装着の時のみ、という条件があります。(詳しくは裏面の「⑤ マニュアル指向性」をご覧ください)



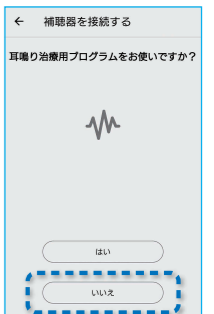
6 プログラム数

販売店が設定したプログラム数をタップします。
※不明の場合は[わからない]をタップします。「1プログラム」で設定されます。



7 耳鳴り治療用プログラム

医師の指導のもとに利用するものです。通常は「いいえ」をタップします。



8 接続に成功しました

[ここをタップ]をタップします。



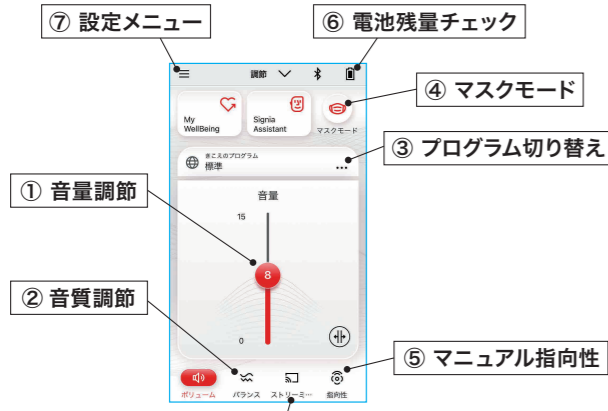
9 「テレケアへようこそ」

テレケアは、別途販売店での設定が必要な機能です。設定済みの場合を除き、[後で設定します]の白いボタンをタップします。



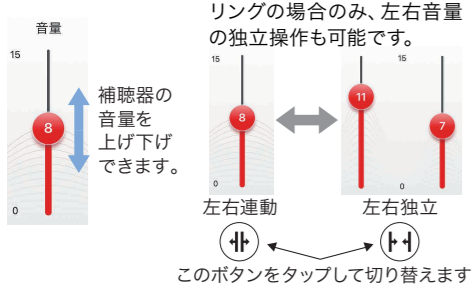
●「リモコン機能」画面

※ 下図の各機能アイコンはお使いの補聴器の機種・クラス・片耳/両耳によっては表示されない項目があります。

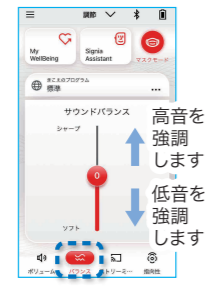


Bluetooth ダイレクトストリーミング
ボタンの先で「再生」すると、Bluetooth搭載補聴器のダイレクトストリーミング音量を変更できます。
※すべての機種で表示されるものではありません。

① 音量調節

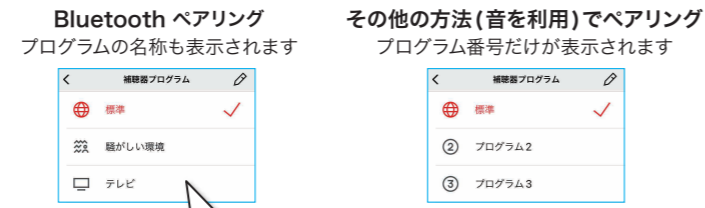


② 音質調節

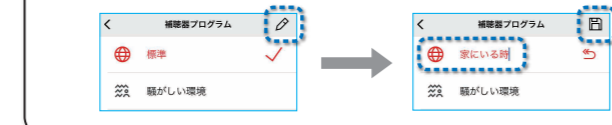


③ プログラム切り替え

下図は3つのプログラムを持つ補聴器の例です。
変更したいプログラムをタップすると、それに切り替えられます。



複数のプログラムを利用する場合、名称を変更できる場合があります
[1] 変更したいプログラムをタップします(本例では【標準】)。
[2] この時、画面右上に✎マークが表示されれば、これをタップして変更が可能です(本例では【家にいる時】という名称に変更)。
[3] 保存するには📁マークをタップします。



④ マスクモード

※ Bluetooth機能を搭載したSignia IX/AX/X補聴器が必要です。
※ マスクモードで調節・変更できるのはプログラム【標準】のみです。
複数の環境プログラムを設定されている場合、マスクモードはプログラム1番でお使いください。
※ CROS/BiCROSシステムを使用する場合、マスクモードは利用できません。
オンにするとマスク越しの音が聞きやすい音質に変わります。
アイコンをタップするたびに機能が オフ ⇄ オン します。



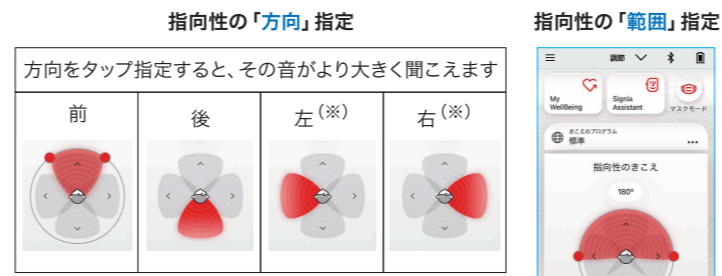
⑤ マニュアル指向性

※ プログラム【標準】でのみ利用可能

マニュアル指向性を利用できるのは、Signia IX/AX/X/Nx/primax/binaxシリーズの7/5クラス両耳装用の場合です。
※ ツインマイク、e2e機能が必須。

一般的に特別な設定を行わない限り、補聴器の指向性マイクは自動的に動作して話相手の声が最も聞き取りやすいように集音しています。本機能のマニュアル指向性はユーザー様が指向性をマニュアルで設定できるようにするものです。画面をタップして聞き取りたい「方向」または「範囲」を指定してお使いいただけます。

※ [A]のアイコンはマニュアル指向性を解除し、指向性を自動モードに戻すためのボタンです(A = Auto・自動の意味)。マニュアル指向性使用後は、[A]のアイコンをタップして自動モードに戻しておくことをお勧めします。

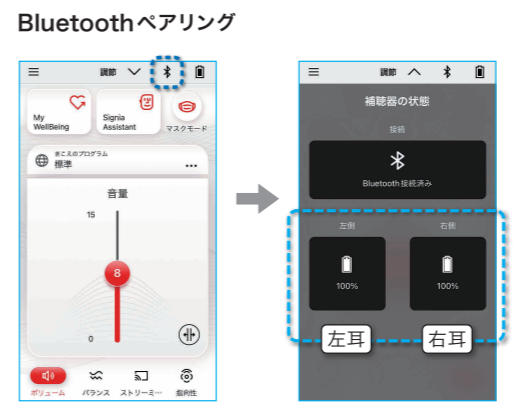


(※) 7クラスはより上位の指向性機能「スピーチフォーカス360°」を搭載しているため、左右方向を選択した場合に左または右からの音声が入るような印象で聞こえます。
5クラスの場合は左右からの音声はほぼ同じ大きさで聞こえます。

(例) 主に前方の180度ぐらいの範囲を聞きやすくする設定

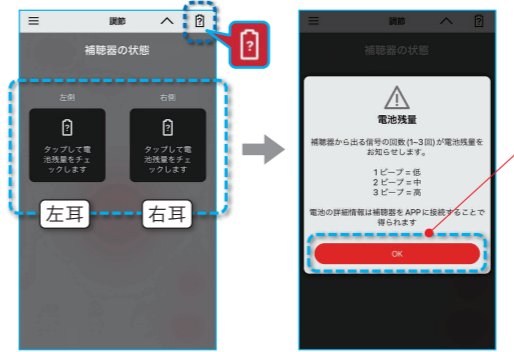
⑥ 電池残量チェック

補聴器の電池残量をだまかに知ることができます。



電池残量がパーセント表示されます。

その他の方法(音を利用)でペアリングまたは、Bluetoothがオフ状態



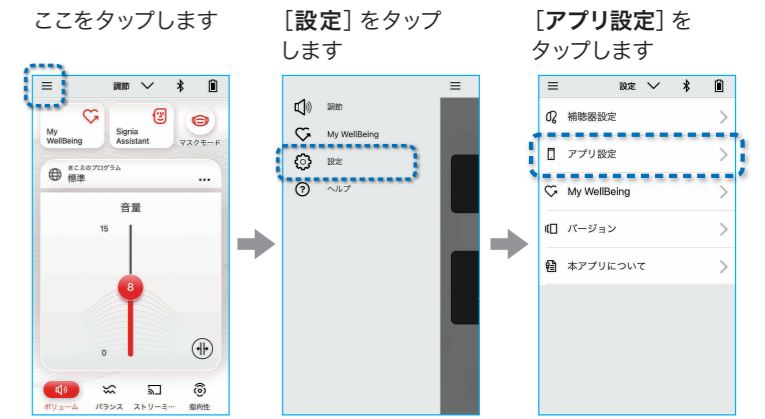
左右いずれかをタップします

次に[OK]をタップすると補聴器が「ピー」という音(ピー音)をお耳に届けます。ピー音の回数が電池残量を表します。

ピー音の回数	電池残量
3回	十分にあります
2回	半分程度
1回	かなり少ない

●もう一度ペアリングを行うには

⑦ 設定メニュー



「アプリのセットアップ」をタップします



ホーム画面に戻るので、本アプリガイド表面の手順3か4をもう一度行ってください



シグニア アシスタント Signia Assistant の使い方

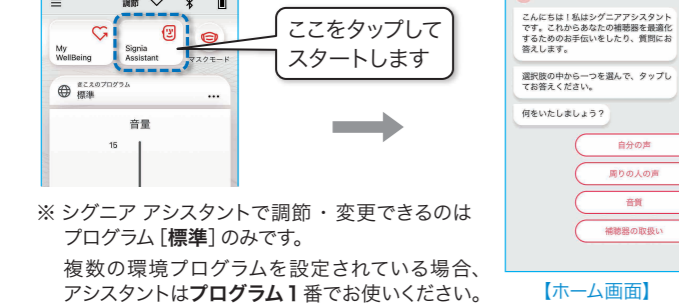
シグニア アプリに入っている、人工知能搭載の補聴器使用支援システム。
アイコンをタップするだけで起動。シグニア アシスタントの質問に何度か答えることであなたに最適な調節を手伝ってくれます。

利用できる補聴器：Bluetooth機能を搭載した Signia IX/AX/X 補聴器



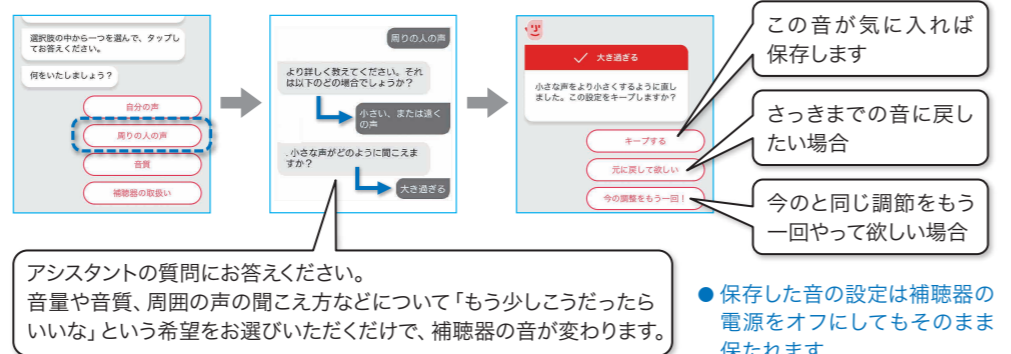
※ CROS/BiCROSシステムを使用する場合、シグニア アシスタントは利用できません。
※ シグニア アシスタントはインターネットが繋がっている状態かつBluetoothオン状態でのみご利用いただけます。機内モードではご利用いただけません。

【シグニア アシスタントの起動】



※ シグニア アシスタントで調節・変更できるのはプログラム【標準】のみです。
複数の環境プログラムを設定されている場合、アシスタントはプログラム1番でお使いください。

【基本の操作】例：「周囲の話し声が大き過ぎる」



アシスタントの質問にお答えください。音量や音質、周囲の音の聞こえ方などについて「もう少しこうだったらいいな」という希望をお選びいただければ、補聴器の音が変わります。

【シグニア アシスタントはこれにお使いください】

- 補聴器は会話の声が最も聞きやすくなるように補聴器販売店で調整を行っています。
- シグニア アシスタントでたくさんの変更を加えすぎると、かえって会話の声が聞きづらくなってしまう場合もあるため、アシスタントによる変更は少しずつ行うようにしましょう。
- シグニア アシスタントは補聴器の補助的な調節を行うものであり、その範囲は限られます。補聴器をお使いの上でお困りごとやご相談がありましたら、補聴器販売店までご相談ください。

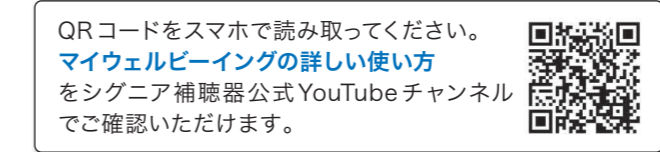
【シグニア アシスタントを終了したい】



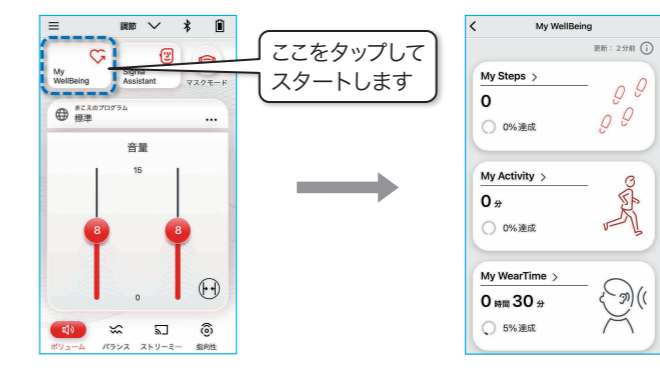
マイ ウェルビーイング My WellBeing の使い方

補聴器内蔵のモーションセンサーが体の動きを検知、シグニア アプリ内に活動量として表示。補聴器とシグニア アプリをより積極的に使うことで、あなたの健康増進・QOL (Quality of Life = 生活の質) 向上の一助となる機能。

利用できる補聴器：Bluetooth機能を搭載した Signia IX/AX 補聴器



【マイウェルビーイングの起動】



My Steps
歩数をカウント
1035
20%達成

My Activity
体を動かした(家事・通勤・運動など)合計時間を表示
56分
186%達成

My WearTime
補聴器をつけた合計時間を表示
10時間 39分
118%達成

My Conversations
会話量のレベルを表示
中

※ My Conversationsは両耳装用でOVP機能を有効にした場合のみ使用可能。
OVP機能を利用できない機種(例：Silk Charge&Go IX、Insio Charge&Go AX、CROS)は非対応。